



平成24年2月28日  
内閣府  
原子力政策担当室

## 第13回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合開催について

平成24年3月7日（水）～3月9日（金）、福井県にて、第13回FNCAコーディネーター会合を開催致します。

1. 主催 内閣府、原子力委員会  
共催 文部科学省、福井県
2. 開催日 平成24年3月7日（水）～3月9日（金）
3. 開催場所 【3月7日、8日】  
福井県国際交流会館 特別会議室（3階）（地図4頁参照）  
（〒910-0004 福井市宝永3丁目1-1）  
【3月9日】  
福井県若狭湾エネルギー研究センター 第1・2会議室（地図4頁参照）  
（〒914-0192 敦賀市長谷64号52番地1）
4. 参加予定国  
オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム  
その他に、IAEAがオブザーバーで参加

※我が国からは、近藤駿介原子力委員会委員長、秋庭悦子原子力委員会委員、町末男 FNCA 日本コーディネーターの他、関係省庁等が出席予定

### 5. 概要

- アジア原子力協力フォーラム（FNCA）は、我が国が主導するアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるためのフォーラムです。（ホームページ：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）
- 今回のコーディネーター会合は、FNCAのメンバー国12か国（オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム）及びIAEAのオブザーバー参加により開催されます。
- 今回の会合では、FNCAにおいて実施されている10プロジェクト<sup>※</sup>の活動報告、評価

及び今後の計画について議論がなされます。また、「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」の第3回会合（昨年7月インドネシア開催）の報告と次回のパネル会合の計画、第12回FNCA大臣級会合（昨年12月東京開催）のフォローアップ項目等に関する議論が行われる予定です。主な大臣級会合のフォローアップ項目は、1）原子力安全、核セキュリティ、保障措置に関わるプロジェクトを通じた原子力基盤の整備、2）今後の人材育成活動、3）研究炉利用とアイソトープ供給のためのネットワーク構築、4）放射線・アイソトープ応用の実用化促進とエンドユーザとの連携強化、5）FNCAの今後の活動等です。

○また、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に関する特別セッション及び事故を踏まえた原子力発電と地域との関わりについての特別セッションを設け、国際社会への情報提供を行います。

○3日目にはFNCAコーディネーター会合の一環として福井県及び福井県国際原子力人材育成センター主催にてアジア原子力人材育成会議を開催し、FNCA参加国に福井県における人材育成事業の紹介等を行います。また午後には、原子力関連施設の見学を行う予定です。

#### ※FNCA10プロジェクト

放射線育種、バイオ肥料、電子加速器利用、放射線治療、研究炉ネットワーク、中性子放射化分析、原子力安全マネジメントシステム、放射線安全・廃棄物管理、人材養成、核セキュリティ・保障措置

#### 6. 報道関係者の傍聴及び取材

**報道関係者の傍聴及び取材は、3月7日（水）の記念撮影・開会セッション（9：00～9：40）及び3月9日（金）のアジア原子力人材育成会議の開会挨拶（10：00～10：05）のみ可能です。**

傍聴や取材、カメラ撮り等を希望される報道関係者は、セキュリティの都合上、事前登録が必要です。開催前（3月2日（金）12時）までに、以下の問い合わせ先に氏名、所属及び連絡先、撮影機材持ち込みの有無を御登録ください。御登録いただけない場合、傍聴席等が確保できない場合があります。

なお、取材は1社につき原則1名（撮影・照明のために入場する報道関係者は除く。）とし、会議室への入室の際には、登録された本人であることが確認できるものを提示していただくとともに、社名入り腕章を着用してください。

（問い合わせ先）

内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付 原子力担当  
金子、反町、藤野

電話：03-3581-6690（直通）

FAX：03-3581-9828

# 第13回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合プログラム

日 付：平成24年3月7日（水）－9日（金）  
場 所：福井県国際交流会館（7日、8日）  
若狭湾エネルギー研究センター（9日）  
主 催：内閣府、原子力委員会  
共 催：文部科学省、福井県

平成24年3月7日（水）

プレスオープン部分（9：00～9：40）

記念撮影

セッション1：開会

- ・開会挨拶（近藤 駿介 原子力委員会委員長）
- ・歓迎挨拶（西川 一誠 福井県知事）
- ・参加者紹介等

特別セッション1：東京電力福島第一原子力発電所事故後のオンサイト及びオフサイトでの取組の現状について

特別セッション2：原子力発電と地域との関わり

セッション2：第12回FNCA大臣級会合報告

セッション3：原子力安全及び核セキュリティ・保障措置強化

セッション4：広報について

セッション5：人材養成

平成24年3月8日（木）

セッション6：原子力発電の基盤整備に関するスタディパネルの成果と計画

セッション7：研究炉利用開発

セッション8：放射線利用開発

セッション9：FNCAの今後の活動について

セッション10：閉会

平成24年3月9日（金）

プレスオープン部分（10：00～10：05）

- ・アジア原子力人材育成会議（福井県及び福井県国際原子力人材育成センター主催）
  - －開会挨拶（満田 誉 福井県副知事）
  - －人材育成センターの概要説明、円卓討議
- ・福井県内の原子力関係施設等の見学

\*：各国等との調整により、プログラムを変更することがあります。

# 会場地図

【3月7日(水)、8日(木)】

場所：福井県国際交流会館特別会議室（3階）

(〒910-0004 福井市宝永3丁目1-1)

【交通手段】：JR福井駅から徒歩で約10分（タクシーをご利用の場合約5分）



# 【3月9日(金)】

場所：福井県若狭湾エネルギー研究センター  
第1・2会議室（2階）

(〒914-0192 敦賀市長谷64号52番地1)

【交通手段】：JR敦賀駅からタクシーをご利用の場合約20分（約7km）



第 13 回 FNCA コーディネーター会合参加者一覧

【海外出席者】

①オーストラリア

- 1) Mr. Peter McGLINN (ピーター・マックグリン)  
オーストラリア原子力科学技術機構 (ANSTO)  
国際関係シニアアドバイザー

②バングラデシュ

- 1) Mr. Abu Sayeed Mohammad FIROZ (アブ・サイード・モハンマド・フィロス)  
バングラデシュ原子力委員会 (BAEC) 委員長
- 2) Mr. Md. Aowlad Hossain KHAN (モハマド・オーラド・ホサイン・カーン)  
科学技術省 (MOST) 次官

③中国

- 1) Mr. XU Zhixiong (シュ・チーション)  
中国国家原子能機構 (CAEA) 国際合作司副処長
- 2) Dr. CAO Jianping (ツァオ・ジェンピン)  
蘇州大学核医学部医学放射線医学防護学院院長

④インドネシア

- 1) Prof. Dr. Djarot Sulistio WISNUBUROTO  
(ジャロット・スリスティオ・ウィヌスブROTO)  
インドネシア原子力庁 (BATAN) 副長官 (核物質サイクル技術・エンジニアリング担当)
- 2) Dr. Yudiutomo IMARDJOKO (ユディウトモ・イマルジョコ)  
PT Batan Teknologi (Persero) 社社長

⑤カザフスタン

- 1) Dr. Erlan G. BATYRBKOV (エルラン・G・バティルベコフ)  
カザフスタン国立原子力研究所 (NNC) 第一副総裁

⑥韓国

- 1) Mr. CHOI Doo Yong (チェ・ドヨン)  
韓国教育科学技術部 (MEST) 宇宙原子力技術局副局長
- 2) Mr. JEONG Honghwa (チョン・ホンファ)  
韓国原子力国際協力財団 (KONICOF) プロジェクトマネージャー

⑦マレーシア

- 1) Dr. Muhd. Noor MUHD YUNUS (モハメド・ノール・モハメド・ユナス)  
マレーシア原子力庁 (Nuclear Malaysia) 副長官 (研究技術部門)
- 2) Dr. Kamaruddin BIN HASHIM (カマルディン・ハシム)  
マレーシア原子力庁 (Nuclear Malaysia)  
マレーシア原子力庁放射線加工技術部部長

⑧モンゴル

- 1) Prof. Dr. Suren DAVAA (シュレン・ダヴァア)  
モンゴル原子力庁 (NEA) 原子力研究センター長
- 2) Ms. Gantuya DULAANJARGAL (ガンチューヤ・ドゥラーンジャルガル)  
モンゴル原子力庁 (NEA) 国際協力部

⑨フィリピン

- 1) Dr. Fortunato Tanseco DE LA PENA (フォルナート・タンセコ・デ・ラ・ペナ)  
科学技術省 (DOST) 次官
- 2) Dr. Alumanda M. DELA ROSA (アルマンダ・M・デラ・ローサ)  
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 所長

⑩タイ

- 1) Dr. Somporn CHONGKUM (ソンポーン・チョンクム)  
タイ原子力技術研究所 (TINT) 所長
- 2) Mr. Samerjai SUKSUMEK (サメルジャイ・スクスメック)  
タイエネルギー省エネルギー政策計画局 電力政策部部長
- 3) Ms. Kanchalika DECHATES (カンチャリカ・デチャテス)  
タイ原子力技術研究所 (TINT) 国際協力部部長

⑪ベトナム

- 1) Prof. VUONG Huu Tan (ヴォン・フー・タン)  
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 所長
- 2) Mr. NGUYEN Manh Hung (グエン・マン・フン)  
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 原子力訓練センター副センター長

⑫国際原子力機関 (IAEA) <オブザーバー>

- 1) Dr. LEE Mun-ki (イ・ムンキ)  
国際原子力機関 (IAEA) アジア原子力地域協力協定 (RCA)  
地域オフィス部長

【国内出席者】

①町 末男

FNCA 日本コーディネーター (元原子力委員会委員)

②中井 弘和 (放射線育種)

静岡大学名誉教授 元副学長

③横山 正 (バイオ利用)

東京農工大学大学院 農学研究院 生物生産科学部門 教授

④玉田 正男 (電子加速器利用)

独立行政法人日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門  
環境・産業応用量子ビーム技術研究ユニット ユニット長

⑤辻井 博彦 (放射線治療)

独立行政法人放射線医学総合研究所 フェロー

⑥河村 弘 (研究炉ネットワーク)

独立行政法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター 副所長

⑦海老原 充（中性子放射化分析）

首都大学東京大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 教授

⑧中村 武彦（原子力安全マネジメントシステム）

独立行政法人日本原子力研究開発機構

安全研究センター 研究計画調整室 室長

⑨小佐古 敏荘（放射線安全・廃棄物管理）

東京大学大学院 工学系研究科 原子力専攻 教授

⑩山下 清信（人材養成）

独立行政法人日本原子力研究開発機構

原子力人材育成センター センター長

⑪千崎 雅生（核セキュリティ・保障措置）

独立行政法人日本原子力研究開発機構

核不拡散・核セキュリティ総合支援センター センター長

⑫来馬 克美

財団法人若狭湾エネルギー研究センター 専務理事

⑬清水 英男

福井県総合政策部電源地域振興課 課長

○その他に、西川一誠福井県知事、近藤駿介原子力委員会委員長、秋庭悦子原子力委員会委員及び関係省庁等が出席予定。

○調整により、出席者が変更されることがあります。

## アジア原子力協力フォーラム (FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

### 1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的發展を促進することを目指す

### 2. 参加国

オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの全12か国（この他にIAEAがオブザーバー参加）

### 3. 経緯

原子力委員会が主催し開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

#### <原子力政策大綱における位置付け（アジア諸国との協力部分）>

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。（略） これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム（FNCA）、IAEAのアジア原子力地域協力協定（RCA）といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

（参考）「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。



#### 4. 枠組み

##### (1) 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

##### (開催実績)

- 第1回大臣級会合：平成12年11月（タイ）大島科学技術庁長官出席  
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」
- 第2回大臣級会合：平成13年11月（東京）尾身科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」
- 第3回大臣級会合：平成14年10月（韓国）細田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」
- 第4回大臣級会合：平成15年12月（沖縄）茂木科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」  
「持続可能な発展と原子力エネルギー」
- 第5回大臣級会合：平成16年12月（ベトナム）棚橋科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」
- 第6回大臣級会合：平成17年12月（東京）松田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」
- 第7回大臣級会合：平成18年11月（マレーシア）平沢内閣府副大臣出席  
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」  
「原子力エネルギーの広報」
- 第8回大臣級会合：平成19年12月（東京）岸田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」  
「放射線利用を中心としたFNCA活動」
- 第9回大臣級会合：平成20年11月（フィリピン）増原内閣府副大臣出席  
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」  
「放射線利用のさらなる促進のための協力」
- 第10回大臣級会合：平成21年12月（東京）菅科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」  
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第11回大臣級会合：平成22年11月（中国）和田内閣府大臣政務官出席  
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」  
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第12回大臣級会合：平成23年12月（東京）細野内閣府特命担当大臣出席  
テーマ：「基盤整備（人材養成と広報）」  
「放射線・アイソトープ応用促進のための協力」

##### (2) コーディネーターとコーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男文部科学省参与。

(開催実績)

- 第 1回 コーディネーター会合 平成12年3月 東京
  - 第 2回 コーディネーター会合 平成13年3月 東京
  - 第 3回 コーディネーター会合 平成14年3月 東京
  - 第 4回 コーディネーター会合 平成15年3月 沖縄
  - 第 5回 コーディネーター会合 平成16年3月 東京
  - 第 6回 コーディネーター会合 平成17年3月 東京
  - 第 7回 コーディネーター会合 平成18年3月 東京
  - 第 8回 コーディネーター会合 平成19年2月 東京
  - 第 9回 コーディネーター会合 平成20年3月 東京
  - 第10回 コーディネーター会合 平成21年3月 東京
  - 第11回 コーディネーター会合 平成22年3月 東京
  - 第12回 コーディネーター会合 平成23年3月 福井 (中止)
  - 第13回 コーディネーター会合 平成24年3月 福井 (今回)
- (第12回は開催直前で中止となったため、混同を避けるため今回会合を第13回とした)

(3) 「検討パネル」

平成16年から平成18年の3か年間「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル(第1フェーズ)を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。

その結果を受け、第2フェーズとして平成19年から平成20年の2か年間「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1)原子力発電分野における人材養成、2)原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成20年11月にマニラで開催された第9回FNCA大臣級会合では、第3フェーズとして平成21年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

(開催実績)

■第1フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成16年10月 東京
- 第2回 パネル会合 平成18年 1月 東京
- 第3回 パネル会合 平成18年11月 敦賀

■第2フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成19年10月 東京
- 第2回 パネル会合 平成20年 9月 東京

■第3フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成21年7月30日、31日 東京
- 議 長：伊藤 隆彦 原子力委員会委員

○第2回 パネル会合 平成22年7月1日、2日 韓国

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Mr. SHIN Jae Sik (シン・ゼシク) 韓国教育科学技術部 (MEST)

原子力局 原子力協力課長

○第3回 パネル会合 平成23年7月5日、6日 インドネシア

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Taswanda TARYO (タスワンダ・タリヨ)

インドネシア原子力庁 (BATAN) 次官 (研究開発研究成果利用・  
原子力科学技術広報担当)

※パネルは4年目以降も継続することとなり、次回はタイで開催予定。

#### (4) 個別プロジェクトについての協力活動

F N C Aは、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化、原子力基盤強化の分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

# アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

